

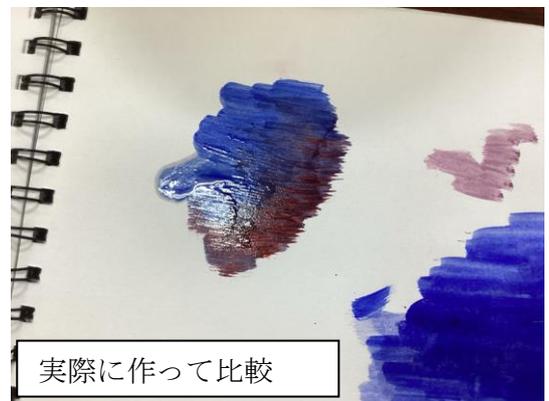
須坂高校 探究通信

総合的な探究の時間でフィールドワークが始まっています

本校では、2学年は毎週月曜6・7時間目、3学年は毎週月曜7時間目に総合的な探究の時間を行っています。2学年では、それぞれの興味・関心により個人探究またはグループ探究で、自ら問いを立て、情報を収集し、分析して、新たな視点を手に入れる活動を行っています。各グループに1人、担当教員を配置し、毎週大学のゼミのように活動の進捗報告や今後の活動計画について話し合い活動します。今年度の2学年は夏休み中に「全グループ1フィールドワーク」（※フィールドワークとは、アンケート、インタビュー、実験、体験活動等自らの手足を使って情報を収集する活動のこと）を行い、積極的に外部と連携して、自らの考えを深めていっています。そこでこの通信を通して、本校生徒がどのようなフィールドワークを行っているか、を不定期でお伝えしていきます。

「画材の特徴を知る」：画材はなぜ変化していったのか？

月24日に私達は須坂高校の美術室で、油絵の具とテンペラ絵の具の違いについて調べるためのフィールドワークを行いました。フィールドワークを行った理由は、二つの絵の具を比べるためには、インターネットや本で文字を読むだけでなく実際に描いてみるのが大事だと考えたからです。「テンペラ」とは、12-13世紀頃のイタリアで始まったと考えられている画材で、乳化作用をもつ物質を固着剤として利用するものです。テンペラ絵の具を卵黄やリンシードオイルなどを使って作るころから始めました。できたテンペラ絵の具と油絵の具を比べてみたところ、乾く時間や混ざり方等に様々な違いがありました。また、実験を行った後で改めて調べてみることで新たな発見もありました。このFWを通してテンペラ絵の具と油絵の具の違いがよく理解できたので、次はテンペラ絵の具や油絵の具だけではなく、他の画材についても調べてみたいと思っています。



←卵黄からテンペラ絵の具を作りました。



須坂高校 探究通信

10月23日(月)の「総合的な探究の時間」にて、当日までの自分たちの探究活動の成果を発表する「第1次発表会」を校内で行うことを予定しています。それに伴い、夏休みまでの成果の確認と今後の活動計画について、各班考え活動しています。今回も、夏休みに行ったフィールドワークの様子をお伝えします。

川中島の戦いの勝者とは？

私たちのグループでは川中島の戦いについての研究をしています。この地域で一番身近な大きい戦いである川中島の戦いについて調べてみたいと思ったからです。「戦国時代の戦の勝利の定義はなんなのか？」「川中島の戦いの勝者は？」「最も得をしたのは誰なのか？」等様々な問いが浮かんでいます。8月18日の午前中に長野市立博物館の学芸員さんにインタビューをしに行きました。インタビューを通して、「川中島の戦いはまだあまり研究が進んでおらず、実態を解明するのは難しいということ」、「時代の影響により様々な創作が含まれている可能性があること」が新たに分かりました。今後は川中島の戦いが起こっていた間の他の戦国大名の動きを調べ、誰がこの戦いで最も得をしたのかを調べていきたいと思っています。



大ヒット映画の特徴とは？

「大ヒットしている作品とそうでない作品とではメディアや企業の売り方に違いがあるのではないか。」そのような考えからこのテーマで探究を行っています。特に映画の「予告」に着目し、映画の予告が存在する意味を自分たちで退官するために、夏休みに実際に映画館に行き、予告を事前に見る人と見ない人に分かれた上である映画を見てきました。視聴した後にグループ内でディスカッションをしました。そして「予告を見ることで事前に世界観が分かること」「予告は制作側が着目してほしいポイントが分かること」「予告の情報が事前に頭に入っていることで、予告になかった展開に意外性や驚きが生まれて、さらに面白く感じること」を発見しました。今後は予告がどの程度の効果を持っているか知るために、映画の広報の方にインタビューを行ったり、広告費と大ヒット映画の相関性等を考えていきたいと思っています。

